

CT装置、マンモグラフィ装置を更新しました



CT装置



マンモグラフィ装置

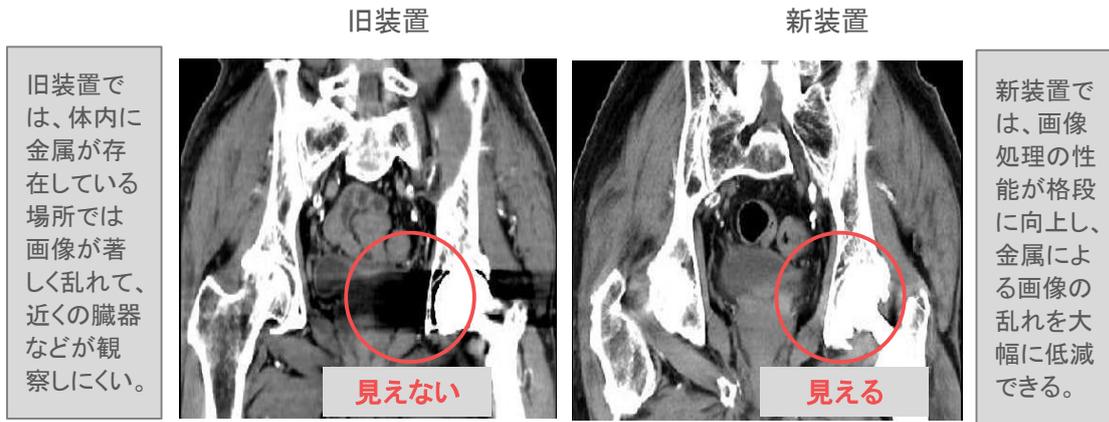
新CT装置の特徴

《 以前のCT装置と何が変わったの? 》

	以前のCT装置	新しいCT装置
検出器の数 *	16列	80列 5倍に多列化
撮影時間	約20秒(胸部の場合)	約 5 秒(胸部の場合) 1/4に短縮
被ばく量	約8.0mSv (胸部の場合)	約2.0mSv (胸部の場合) 最大1/6に低減
画質	<ul style="list-style-type: none"> ・体内に金属がある場所では(ボルトや歯の詰め物など)画質が著しく低下する。 ・撮影時間が長いいため、体動による画像の乱れが発生しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体内の金属による画質の低下が少なく、観察できる範囲が広がる。 ・装置全体の性能向上により画質が向上し、より正確な画像診断が可能となる。

*検出器：からだを透過したX線を受け取る部分

《 前CT装置と新CT装置の比較画像 》



新マンモグラフィ装置の特徴

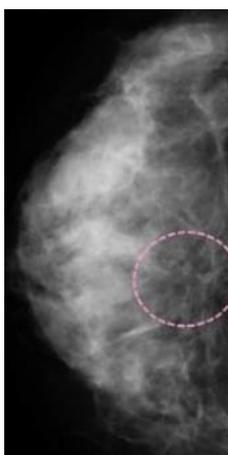
《 以前のマンモグラフィ装置と何が変わったの？ 》

	以前のマンモグラフィ装置	新しいマンモグラフィ装置
検出器の種類 *	CR (Computed Radiography)	DR (Digital Radiography)
撮影時間	約10分	約4分 約1/2に短縮
撮影法	2Dのみ 2D マンモグラフィ (2次元画像)	2D + 3D 3D トモシライス (3次元画像)
画質	<ul style="list-style-type: none"> 高濃度乳腺の方は、病変が存在していても、乳腺と重なって発見しにくい。 フィルムでの読影だったため、病変があっても拡大等の観察ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 高濃度乳腺の方でも、3D撮影することによって、乳腺と重なった病変を発見しやすく、より正確な診断が可能。 DR化によりフィルムレスとなったため、モニター上で読影ができ、小さな病変も逃さずチェックできる。

*検出器：からだを透過したX線を受け取る部分

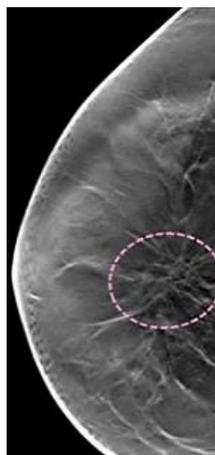
《 2D撮影と3D撮影の比較画像 》

2Dマンモグラフィ (2次元画像)



見にくい

3Dトモシライス (3次元画像)



見える

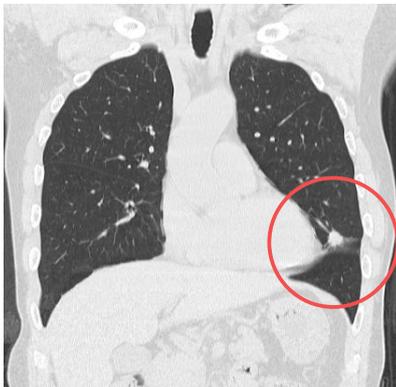
通常の2Dマンモグラフィでは、乳がんと乳腺が重なっていて、乳がんが見えにくい場合があります。3D撮影で、より正確な診断が可能となります。

胸部CT検査、マンモグラフィ検査を受けませんか？

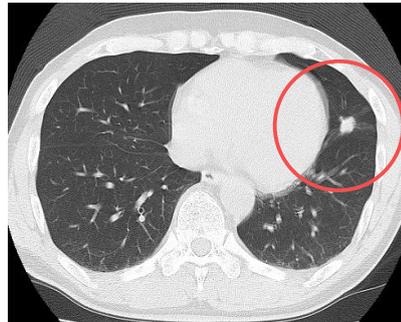
肺がんや乳がんは罹患率や死亡率が上位にあり、早期発見のための検査が大切です。

	部位別がん罹患率 (がんにかかる%)		部位別がん死亡率 (%)	
	男性	女性	男性	女性
1位	胃がん (17.6)	乳がん (20.3)	肺がん (23.9)	大腸がん (15.1)
2位	肺がん (15.4)	大腸がん (15.9)	胃がん (13.6)	肺がん (14.0)
3位	大腸がん (15.3)	胃がん (11.1)	大腸がん (12.3)	膵がん (11.0)
4位	前立腺 (14.5)	肺がん (9.7)	肝臓 (8.4)	胃がん (10.2)
5位	肝がん (5.4%)	子宮がん (6.8%)	膵がん (7.8%)	乳がん (9.0%)

*国立がん研究センター 最新がん統計より



胸部CTの画像（肺がん）



胸部レントゲンでは、心臓、骨などの裏に肺がんがあっても、重なって見つけにくいですが、胸部CTでは見つけることができます。

早期発見、早期治療につながります！

* 当院では**水曜日 午後3時より、乳腺外来で診察**を実施しております。
希望される方は、**事前に予約が必要**です。お気軽にご連絡下さい。

お申し込みは

不二越病院

TEL 076 (424) 2881